

レガシーマイグレーション

MartSolution® (DWH/BI)

ES7000

# キッコーマン株式会社 様

レガシーマイグレーションでオープンシステムに移行し、  
戦略的な情報活用を促進するDWHを導入

## 導入の背景

- 国内事業の収益力向上が経営課題
- メインフレームで稼働していた情報系システムの運用コスト削減
- 戦略的な情報活用に向けた環境整備
- 社内での情報活用促進

## 事例のポイント

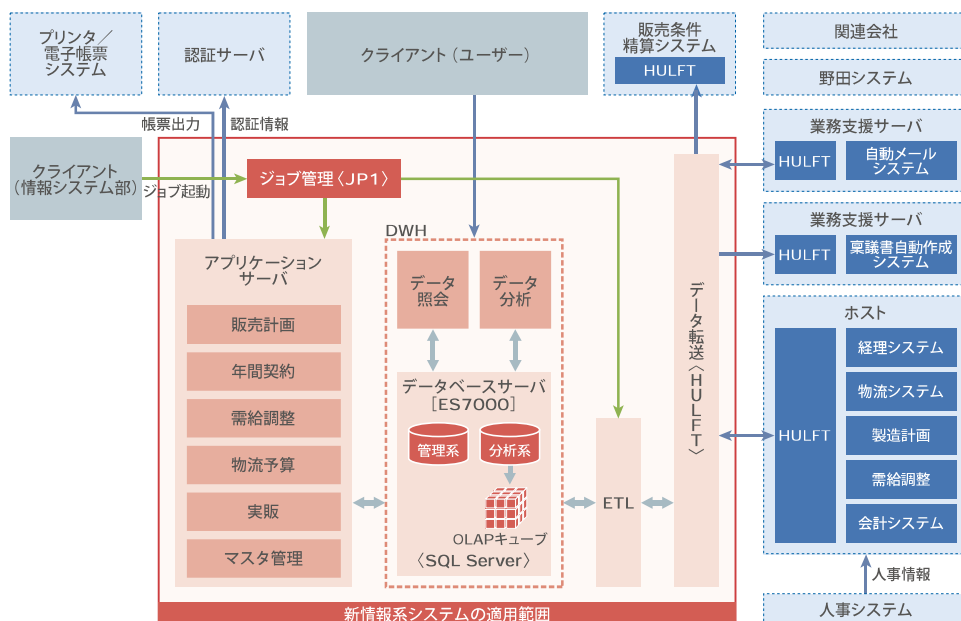
- メインフレームのリースアップ期限までの短期開発、コスト削減、使い勝手およびパフォーマンスの維持・向上といったお客様のご要望を受け、日本ユニシスが提供する「オープン移行サービス」を用いて、リホストと再構築とを組み合わせた的確なレガシーマイグレーションを提案
- 大規模な新システムを支えるプラットフォームとして、日本ユニシスの高信頼性・高可用性IAサーバ「ES7000」と、マイクロソフトのサーバOS「Windows Server® 2003」を採用
- 情報活用系システムの再構築には、日本ユニシスのWindows/.NETベースのDWH構築支援ツール「MartSolution®」を活用することで、使いやすさと短期開発を実現

## 選定理由

- メインフレームのリース期限を考慮したスケジュールでの提案
- 直面する課題をふまえた最適な提案 (リホスト※と再構築の組み合わせ提案)
- DBサーバとして高信頼性・高拡張性を備えたIAサーバ「ES7000」を提案
- .NET開発およびDWH構築における豊富な実績とノウハウ

※リホスト:ビジネスロジックは変更せず、メインフレーム上のアプリケーションをそのままの形でオープンプラットフォームに移植する手法。ストレートコンバージョン。

## 新システムの適用範囲と全体システム関連図



## システムの概要

システム名称:情報系システム

システム概要:データウェアハウス (DWH) を中核とした、販売計画や需給調整を行うための管理系システムと、それらの情報を活用する情報活用系システム

開発期間:10カ月

## USER PROFILE

設立:1917年12月7日

資本金:115億9,900万円

(2006年3月31日現在)

従業員数:1,981名

(2006年3月31日現在)

本社所在地:千葉県野田市野田250

事業内容:しょうゆをはじめとする各種調味料、デルモンテ商品、ワインなどの製造・販売

“市場優位性を確保できる柔軟で機動的な  
ビジネス基盤を構築したいですね”

野崎 貞夫 氏  
理事 情報システム部長



## キッコーマン株式会社 様

### 導入の背景

#### 運用コストの大幅な削減と情報活用の促進をめざして

人々の食卓を豊かにする幅広い商品を製造・販売してキッコーマン様。なかでも、主力商品のしょうゆは、国内でトップシェアを誇る。

しかし、理事 情報システム部長の野崎貞夫氏によると、消費者のライフスタイルの変化に伴い、国内の“しょうゆ市場”の規模は縮小傾向にあるなどビジネス環境は厳しさを増しているという。このため同社では、国内事業の収益力向上を経営課題に掲げ、さまざまな施策を講じてきた。そして、その一環として同社の情報システム部が着手したのが、「メインフレームで構築していた情報系システム（管理系・情報活用系システム）のオープン環境への移行」による運用コスト削減と、「データウェアハウス（DWH）の構築」による戦略的な情報活用の促進だった。



### 選定理由

#### リホスト（ストレートコンバージョン）とリビルド（再構築）の組み合わせによる効率的なシステム構築に期待

キッコーマン様の要望を受けた日本ユニシスの提案は次のようなものだった。販売計画や需給調整などのデータを入手する「管理系システム」は、リホストと呼ばれるレガシーマイグレーション手法によって、既存のCOBOLプログラムをオープンCOBOLに移行する。一方、「情報活用系システム」の定型検索機能は、使い勝手を向上させるとともに、多様な検索要求に対応できる柔軟性を実現するために日本ユニシスのWindows®/.NETベースのDWH構築支援ツール「MartSolution®」で、戦略的な情報活用に必要な非定型検索および多次元分析機能は、「Microsoft® SQL Server™ Analysis Services」でそれぞれリビルドするというものだった。

メインフレームのリース期限が迫っていたが、リホストとリビルドの組み合わせであればシステム構築に要するコスト・時間の大幅な削減が期待できたこと、また日本ユニシスが.NET開発とDWH構築に関する豊富な実績とノウハウをもっていただいていたことを評価し、キッコーマン様は日本ユニシスの提案を採用した。

### 移行・導入の効果

#### システムの運用・維持コストが大幅に低減

キッコーマン様では、情報系システムは従来から業務プロセスの中に組み込まれていることをふまえ、新システムを構築するにあたって“システムが提供する機能および操作性の現状確保”を最低条件とし、さらにシステムの利便性と処理速度のレベルアップを図ることを要件として定め、システムと業務に精通した3名のメンバーを中核に日本ユニシスと共同で作業を開始。開発着手から約10カ月後の2006年6月には本番稼働を開始した。



本格稼働から約半年、レガシーマイグレーションによるシステム移行は、運用コストにおいて目に見える効果をもたらしている。

「今回の作業に関わる減価償却費を含めても、年間の運用コストは汎用機と比較して約2割削減できました。償却後には劇的に削減される見込みです」（野崎氏）

また、「MartSolution」は、.NETによる非常に高い開発生産性を備えている点で大きなメリットがあったという。

### 今後の展望

#### 情報活用を促進させ、他社に対する競争優位性を確保

オープン環境のシステムは機能の拡充が容易な半面、ミドルウェアなどシステム全体を把握するための知識が情報システム担当に求められるという難しさがある。しかし野崎氏は、「これほどのコスト削減効果が実証されているわけですから、今後も多くの企業でシステムのオープン化が進んでいくと思います」と語る。

また、SQL Server Analysis Services機能を活用し、DWHの非定型検索機能をさらに有効活用できれば、今までは実施できなかった高度な分析作業も可能になる。キッコーマン様は、この新システムとDWHのメリットを最大限に利用して、市場優位性を確保できる柔軟で機動的なビジネス基盤の構築を進めている。

## 日本ユニシス株式会社

本社 東京都江東区豊洲1-1-1  
電話 03-5546-4111 (大代表)  
URL <http://www.unisys.co.jp/>  
E-mail [dotnet-box@unisys.co.jp](mailto:dotnet-box@unisys.co.jp)

事例インタビューの全文はこちら

URL <http://www.unisys.co.jp/dotnet/casestudy.html>